

平成30年上半期の消防概要

中濃消防組合管内における本年1月から6月までの火災、救急、救助及び指令センターの概要は、次のとおりです。

火災件数は24件で、前年同期に比べ2件減少しています。

火災種別ごとにみると建物火災11件、林野火災2件、その他の火災が11件となっています。前年同期に比べ車両火災が3件、その他の火災が3件減少し、建物火災が3件、林野火災が1件増加しています。

火災による負傷者は7名で、死者はありませんでした。

損害額は85,272千円で、前年同期に比べ70,421千円増加しています。

火災件数を月別にみると、1月、2月がそれぞれ6件と上半期で最も多く、次いで4月に5件発生しています。なお、6月は火災が発生しませんでした。

出火原因はたき火が5件、次いでたばこ、こんろ、ストーブ、火入れがそれぞれ2件ずつとなっています。

救急出場件数は2,287件で、前年同期に比べ148件増加し、搬送人員も129人増加しています。出場件数を事故種別ごとにみると、急病が1,449件と最も多くなっており、前年同期と比べ83件増加しています。

年齢別搬送人員は60歳以上が1,496人で、約70%を占めています。

救助出場件数は28件で、前年同期と比べ3件減少しています。出場件数を事故種別ごとにみると、交通事故に伴うものが20件と最も多くなっています。

119番受信件数は3,046件でした。うち火災・救急などの災害通報は2,143件で、前年同期に比べ121件増加しています。また、災害通報のうち携帯電話からの通報は822件で、約38%を占めています。

救急医療情報システム(病院案内)は、462件の問い合わせがあり、小児科の案内が最も多く、次いで内科、整形外科、外科、眼科の順となっています。

緊急通報システム(一人暮らしの高齢者宅等に設置された非常通報装置)は、現在468台設置されています。通報は294件で、うち救急車の出場は16件でした。

携帯電話によるメール119番通報(聴覚や音声に障害のある人)は32名登録されていますが、緊急通報はありませんでした。また、FAX119による通報もありませんでした。